
零

咲徒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雫

【Nコード】

N7563C

【作者名】

咲徒

【あらすじ】

ギタドラやビーマニ、ポップンなどの音ゲーの楽曲を手掛けている「あさき」の名曲、雫の歌詞を個人的かつ独断的に解釈してみました。

(前書き)

あくまで個人的解釈なので、ほとんどが想像です。そこをご了承ください。

指を指した先の木々の隙間から

静かに零れる月明かり

私と貴方の頬を優しく撫でてくれる

見渡す限り一面白銀の世界

そのあまりにも美しい景色に

ふと懐かしい思い出が蘇る

でも私の心はその思い出達を拒んだ

これからの私達の為に

静かに吹く冷たい風に頬が赤く染まって

ぼけっとな中で貴方と手を繋ぎ

その温もりを確かめ合う

静かに降り続く雪の中

零れる白い吐息と共に昇っていく私達の小さな想い

そして雪のように胸に積み重なっていく想いはまるで

雲の隙間から輝く星の光のように煌めいていた

残酷な時代に流され

そして深い雪の中に閉じ込めた

二人で一緒に過ごした日々の思い出

水面に薄く貼った氷の下で

寄り添った私と貴方の姿が小さな波に揺られ

湖に映る月も二人の心を映すように

ゆらゆらと揺らいでいた

夜の闇に輝く星の光を背中に受けながら

二人で絆を深め合った日々

それだけが在ればよくて

不思議な程綺麗な雪の姿に

木々の下で思わず言葉を募らせていた

優しく言葉をかける貴方に

泣き虫な私はぼろぼろと涙を流し

「そうね」と呟くしか出来なくて

そんな私を見て貴方は

「本当に綺麗な場所だ」と呟き

その表情が見えないように帽子を深く被った

そして木の枝に積もった雪が落ちた時

私は心を決め貴方に呟いた

「ねえ ここがいいね」と

その言葉の意味

それは…

指に落ちた雪が溶ける姿に

止まった筈の涙がまた零れて

私達を乗せた小さな舟が

夜の波に揺らいでいる

そしてまるで迷子の子供のように

私と貴方は抱きしめ合い

そして心を決め互いに頷き合う

その時いつも強がっていて

私の前では決して涙を見せない貴方が

初めて泣いた

今まで幸せの数を指折り数えてみたら

指が足りなくなつて

それだけ沢山の幸せがあつた

静かに頬を寄せ合わせた私達

夜空の星達はその隙間を埋めてくれているように
優しく光っていた

湖べりで輝く綺麗な星々

夜空を流れる雲に星の光が消えて

雲間から漏れる小さな光に照らされる私達の影は
とても美しく見えた

そして星は流れ…

光のような水飛沫を上げ

湖の中へ私達の影は消えた

波に揺らぐ月

残された舟は水面に映し出された星の川を昇っていく
まるで二人を空へと導いてくれるように

そして誰もいなくなった湖は静かに揺られて

それまでの現実がまるで幻のように

静けさに包まれていた

薄い氷の膜に輝く星の光に

二人の影は静かに

静かに消えていった

残酷な時代に流され

そして深い雪の中に閉じ込めた

二人で一緒に過ごした懐かしき日々

自ら終わらせたのは

脆く儂い未来へと続く夢

風に吹かれ空へと舞い上がり

そして消えて逝く粉雪に包まれ

本当の…ただ一つの幸せを

最後の時に思う

「あなたに会えてよかった」と

(後書き)

【決して叶わない二人の恋、その果てに二人は、遠く静かで、星と月が綺麗な湖でこの世界に別れを告げる事を決めた】そんな感じの解釈です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7563c/>

零

2010年10月15日13時23分発行